

## 目標達成計画

作成日：平成 23 年 2 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	個々の排泄については、入居時にアセスメントにて把握はしているが、排泄表は作成していない。作成時に行動やサイン、その時の細かいパターンも欄を設けて活かしたい。	入居時より個々の排泄のパターンをアセスメントして、失敗を減らして快適な生活を支援出来るようにする。変化のある場合にも再アセスメント時にも利用して、職員に周知できわかりやすいためにケアの統一をする。	ケアマネとベースになる排泄表の作成を行い、職員で使いやすい表となるように会議にて検討をする。試しに使用して問題となる部分のやり直しもしたい。排泄表を入居者様の状態把握にも活かしていけるように工夫していく。	6ヶ月
2	35	施設全体の避難訓練は年2回は実施出来ているが、GHでの独自の訓練はできていない。夜間の職員が1名で夜勤を行っているために、今後は訓練を行なう必要がある。	緊急連絡方法や、マニュアルの確認、物品や用具の保管場所、消火器の使用方法や位置、また、1人夜勤であるためにさらなる火災に対する注意事項の確認。スプリンクラーの確認。防火の意識を高める。	2月にGHの職員が防火管理者の講習を受ける予定のために、今後のGHにおける独自の訓練の計画をして検討。年1回は実施を行う。	12ヶ月
3	14	GH協議会に加入して、研修などの参加はあるが、地域の同業者との相互訪問などの機会は少ない。また、職員の研修、勉強会の受け入れは少ない。	地域の同業者との連携を図り、相互間にての勉強会、研修を通じて職員のサービスの向上に活かしていく。	醍醐のほっこりさんのGHの管理者と連携、おたがいに職員の勉強会、研修の実施を行なう。また、地域に開かれたGHをめざして、1階の空間を利用しての貸し教室の利用。家族交流会の参加への働きかけを予定しています。	12ヶ月
4	6	GHの職員が身体拘束委員会のメンバーとなり会議などにて勉強は行っているが、認識とはべつに具体的な細かな業務内での勉強はわかりにくい声もある。	GHにおける独自の内容について、すべての職員が、入居者様の尊厳、個別の人格について認識を持ち日々の業務をできるようにする。新人の職員にも周知できるようにする。	身体拘束委員会を1カ月に1回実施。勉強の内容は採点表の項目利用、詳しく具体的なわかりやすい日常の中での例を出してする。採点表も1年に1回は職員全員にして、身体拘束の自己確認のためにも継続する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。